

# 土岐・ファエンツァ姉妹都市 市民交流使節団 帰国報告

土岐市とイタリア・ファエンツァ市は、姉妹提携をして今年で二十四年を迎えました。これまでの間、両市は商工、文化、教育など、さまざまな分野で交流を図ってきました。こうした中、昨年は、交流をより身近なものにするため、ファエンツァ市の写真愛好家三人をお招きし、市内を撮影していただくとともに、市民レベルでの交流を行いました。そして今年、土岐市の写真愛好家三人が、六月二十日（金）～二十五日（水）の日程でファエンツァ市を訪問し、現地での写真撮影を通じて市民レベルでの交流を一層深めました。

帰国後、三人にお話を伺いましたので、写真の一部とともにご紹介いたします。

なお、三人が撮影された写真は、昨年ファエンツァ市民が撮影した写真などと併せて、両市の交換写真集として今年度中に発刊の予定です。

詳しくは、秘書広報課国際交流係（内線203）へ。



松浦務さん  
（妻木町）

ファエンツァ市役所の近くにある広場を訪れた際に印象

的だったのは、自転車を利用する市民が多いことです。また、多くのお年寄りが、その広場に集い、語り合っている様子も印象的でした。街並みは、中世の雰囲気そのまま残っていて、歴史を感じました。



松浦務さんの作品

市民は、自分のライフスタイルや考えをしっかりと持っていて、国民性の違いを感じました。



林聿子さん  
（肥田町）

市内には、スーパー、コンビニや自動販売機も見当た

ず、市場に生活必需品があふれていて、その量の多さに驚きました。また、その市場は、老若男女の市民の皆さんでにぎわい、活気に満ちた様子も新鮮に感じました。



林聿子さんの作品

凝縮した実のある体験ができました。ファエンツァ市のことを、友だちに紹介するとともに、これから市民交流のお手伝いをしていきたいですね。



永田英里さん  
（駄知町）

若者に活気のある街だと感じました。

「パリオ祭」を見学したのですが、若い人たちが中心となって、祭りを盛り上げています。

また、ファエンツァ市の代表的な地場産業であるマジオリカ陶器の色使いや、デザインの鮮やかさにも感銘を受けました。

この体験を機に、自分が住んでいる土岐市のことを、あらためて見つめ直したいと思いました。



永田英里さんの作品